

熱中症救護袋

HEAT EMERGENCY

COOL TRANSPORT BAG

「暑熱環境下の救護現場では、
速やかな初動対応が重要です」

『すばやく対応』

- ✓ 軽量2.0kgで女性でも持ち運び可能
- ✓ 収納袋がそのままバケツに変身
- ✓ 現場で展開しやすい構造

『すばやく冷やす』

- ✓ 水を注入して冷却対応を行う構造
- ✓ 冷却対応を想定した構造設計
- ✓ 水を用いた運用を想定

『すばやく搬送』

- ✓ 担架機能一体型で移し替え不要
- ✓ 排水ファスナー開放で一気に水を排水
- ✓ 現場から搬送への移行を想定した構造



軽量

防水

特許出願中

Trademark registration
Registration of design
Patent pending



現場対応と搬送補助を支援する救護用資材



熱中症救護袋



収納袋



バケツ



ハンキングツール
(オプション)

※収納袋が簡易バケツになります。

※近日発売予定

製品仕様

- ・商品名 熱中症救護袋
- ・型番 NB-001
- ・使用サイズ 1960×580×300mm
- ・収納サイズ 700×550×60mm
- ・重量 2.0kg
- ・材質 ナイロン PVC
- ・必要水量 80ℓ～130ℓ
- ・耐荷重 100kg

特許出願中

Trademark registration
Registration of design
Patent pending

※ 製品仕様は、仕様改善のため変更する事がございます。

熱中症救護袋と熱中症リスクProを活用した救護フロー

確患者発見から救急搬送への引継ぎまで

- 1 罹患者を発見**
 - ・顔色不良、ふらつき、反応低下、けいれん、倒れ込み、頭痛等の確認
 - ・周辺の安全を確認し、複数名で対応開始
 - ・日蔭、冷房下など安全な場所へ移動
- 2 初期評価**
 - ・意識、呼吸、脈、会話の可否を確認
 - ・自力歩行の可否、汗の有無、体の熱感を確認
 - ・重症が疑われる場合は救急要請を優先
- 3 119番通報/役割分担**
 - ・1人は、119番（医師の助言が必要な場合は#7119番）
 - ・1人は、熱中症救護袋、水道水(注水用ホース)などを準備
 - ・1人は、周囲整理と搬送導線の確保
- 4 熱中症救護袋を準備**
 - ・熱中救護袋と広げて設置
 - ・罹患者を無理なく寝かせる
 - ・頭部、気道を確保し、呼吸しやすい姿勢を保つ
 - ・靴や手袋、空調服を脱がせて、被服で締め付けられている部分を緩める
- 5 水道水で浸漬冷却**
 - ・首の下～体幹、四肢を中心に冷却
 - ・耳の下を目安に浸漬し、頭部は水面上に保つ
 - ・冷却中も意識、呼吸、表情を継続観察」
- 6 冷却中の観察/対応**
 - ・会話の変化、反応、震え、苦痛の有無を確認
 - ・必要に応じて排水し、姿勢を調整
 - ・嘔吐時は気道確保を優先」
- 7a 救急隊到着まで継続**
 - ・発見時刻、冷却開始時刻、症状の変化を記録
 - ・可能であれば飲水歴、運動歴、既往歴も整理
 - ・救急隊到着まで冷却と観察を継続」
- 7b 熱中症リスクProによる確認**
 - ・熱中症リスクProを使用したチェックの可否確認
 - ・可能であれば尿を採取してキットで確認
 - ・熱中症リスクProの結果を救急隊に引継ぎ
- 8 救急隊へ引継ぎ**
 - ・発見状況、意識レベル、症状経過を報告
 - ・冷却方法、冷却開始時刻、排水対応の有無を共有
 - ・搬送時は、安全確認の上、指示に従って引継ぐ」

重要ポイント

- 反応が悪い、けいれん、自力で水分摂取出来ない場合は重症を推定
- 一人で対応せず、必ず周囲と連携する
- 頭部は水に沈めず、気道確保を最優先
- 判断に迷う場合は、119番通報を優先
医療従事者への確認は、#7119番へ通報


引継ぎ時に伝える内容

- ① 発生時刻
- ② 症状
- ③ 意味・呼吸の状態
- ④ 冷却開始時間
- ⑤ 対応内容
- ⑥ 変化経過
- ⑦ 急性腎障リスク確認結果

総販売元

ninebird
ナインバード株式会社

〒542-0081 大阪市中央区安土町3-4-14 マツダビル6階ビル
TEL 06(7777)1550 FAX 06(7777)1545
〒105-0013 東京都港区浜松町2-5-3 LIBPORT浜松町
TEL 03(6403)1898 FAX 03(6403)1899



販売店